



刊夕 日四十二月八
一ヶ月 廿五日
郵税十五錢 郵二錢
廣告料 一円四十錢
物所指定 廿錢
發行所 福島縣平野町大野五
新いわき新聞社

上流と下流の喧嘩で 小川堰改修お流れか

眞似井の改修はやるべきもの 下流の反対は感情から

石城郡小川江の改修が平窪村の上平窪字眞似井内に於て同村公有林野一帯から流出する小川江と江筋水路との十字交叉點を江水路側に於て暗渠を築設する計畫により前記河修との絶縁關係で該河川の改修を前に施行するを可とする技術的見地から二萬二千餘圓の工費を以て本年度の匡救事業に行はれる筈を平窪村以外の水利議員から反對されこの附帯工事（眞似井河川改修）を施行されぬものとせば小川江改修の必要なしとまで態度強硬な平窪側との衝突に縣當局でもこの處置に難じてゐることとは既報したが右に對して近く來郡する右江筋の管理責任者潮事務官の仲裁に於て解決を見ることのできなれば折角具体化した小川江改修計畫はお流れでないかと云はれてゐることだ（馬鹿氣な騒ぎである）と某有志は語る

醫師に論争はない 診断は一致したもの

對診の石山博士は語る

平町の警城共濟病院院長石山博士と町醫師金成忠義氏とが片倉製糸所員堀内治三郎氏令嬢照恵さん（七）の病氣を石山氏が丹毒と稱し金成氏が猩紅熱と稱した診斷の相違ありたる熱と觀た診斷の相違ありたるも金成醫師の主張によつて去る十二日町傳染病院に隔離收容されたことは昨紙に報導したが猩紅熱は發熱及び全身の發疹と猩紅様の痲が全身の丹毒の様に一局部から進行する紅腫とは普通人にも相異を見ることの出来るもので之れに醫師の診斷上甚だしい差を認めるべきものでないとの醫師側にも不審がられてゐたが右に對して石山博士は

郡下の光榮者八名

二十三日午後五時から福島市公會堂で開かれた東久邇第二師團長官御着任御披露の賜會に召された百四十三氏のうち郡下でこの光榮に浴した人々は左の如くである

- 山崎清三 貴族院議員金成
- 通 衆議院議員佐藤庄太郎
- 比佐昌平 鈴木辰三郎
- 青沼町長
- 比佐代議士
- 單獨拜謁の光榮
- に浴す
- 石城郡町長支會長青沼錦太郎
- 磐中配馬將校大井川八郎
- 平商配馬將校駒場謙
- 向青沼町長及比佐代議士は
- 福島縣長室に於て畑山知事、

座講識常

中元と云ふのは支那から來た習俗で陰曆七月十五日丁度立秋と處暑の中間期又上元は正月十五日で立春と雨水の中間期に下元は舊十月十五日で寒露と霜降の中間に當つてゐるもの

石城各漁港の 現在船舶數

合計四百八十隻
平土木監督所調査郡下各漁港の現在船舶數は發動機船二百二十九隻、和船二百五十四隻合計四百八十三隻で各港別現在數は左の如く

發動機船	和船
小名濱 六二	五六
江名 七二	六三
中の作 三〇	一五
豊間 一一	三九
四倉 五〇	八一
發動機船の最も多いのは江名和の多いのは四倉である	

郡下全村に 産業組合設置

佐藤福島市長等十九氏と共に光榮に浴した師團長官殿下から單獨拜謁の

徴兵検査の歸途 酌婦街を素見し歩く

あきれ返つた非常時壯丁
郡下の壯丁検査は去る十八日醜態であるとして心ある人々から九月二日まで第一小學校で行はれてゐるが検査を終つた適齡者の多數が自費隊伍を組んでカフェー、飲食店などでざけ散らすのは未だしも甚だしきに至つては紋羽羽織袴をつけて雨町の暗黒街で酌婦をひやかしてゐるといふ有様で非常時日本を存負つて立つ第二の國民としてあるまじき

人命救助表彰

飯田町本町藤田謙之助（三）同町吉川忠夫（三）山田村下山田佐川三郎（三）の三氏は去月二十二日午後三時三十分頃積河川で釣魚中河中に轉落溺死したと見られるのを發見協力せんとしたのを發見協力

赤井信用總會

赤井信用購買組合では二十六日午後一時から同村第二小學校に役員會を開催、事業經營改善につき協議する

不敵な泥すい漢

トラックで留置場入り
二十三日午後十時半頃平野新撰組の一隊が内郷村方面を警戒中同村御殿地内で泥濘徘徊してゐる二名の男を舉動不審と認め誰何すると矢聲に逃走せんとするのを取押へんとするや頑強に抵抗するので格闘の末捕縛しトラックに積み込んで本署へ連行取調への結果右は當時内郷村御殿木賃宿會津屋止宿那麻郡一の木村高橋著作（三）郡山市東町中留藏（三）の兩名が窃盜の疑ひあり嚴重取調へ中

澤渡に傳貧馬

澤渡村大字北阿部直衛飼育鹿毛牝馬二才は二十三日傳染性貧血症と決定撲殺した

暑中日記

七月二十六日午後八時。自動車を走り飛ばせて兩國の福井樓に乗り込んだ。と書けば一葉女史の「たけくらべ」の走れ飛ばせの夕に引かへて明け真中に大きな龜の子石で造つた池があつて涼味百プロセンの別れに夢をのせ行く車の淋しさと云ふ名句が思ひ出

新撰組に喰つてかかる

二十三日午後十時半頃平野新撰組の一隊が内郷村方面を警戒中同村御殿地内で泥濘徘徊してゐる二名の男を舉動不審と認め誰何すると矢聲に逃走せんとするのを取押へんとするや頑強に抵抗するので格闘の末捕縛しトラックに積み込んで本署へ連行取調への結果右は當時内郷村御殿木賃宿會津屋止宿那麻郡一の木村高橋著作（三）郡山市東町中留藏（三）の兩名が窃盜の疑ひあり嚴重取調へ中

土本出張所長

救助した廉により二十三日畑山知事から金一封を添へ表彰されこの傳達式は二十四日午前十時から種田署で舉行された

來郡

郡下の匡救事業
内務省仙台北出張所坂本所視察

熊氏令息

平町仲町二葉印刷所主熊謙次郎氏長男靖郎さん（六）は二十二日發病痲痺と決定したので八方治療につとめたが二十三日午後七時途に永眠した、葬儀は二十四日午後五時自宅出棺火葬場

横着運轉手に 就業停止

上遠野村大字根岸宇白權四二自動車運轉手小野國治（三）は去る七月十八日午前七時半頃同村上根岸からトラックに鹽十俵を積んで下根岸野田庄之助方に運搬の途中野田方から五十間程行きすぎたヤット氣つき横着にもそのまゝ後進中後方から來た同村小學校高等二年生上遠野國一（二）巴を後車輪にかけて即死せしめた廉で二十三日から五十日間の就業停止處分に附された

不敵な泥すい漢

トラックで留置場入り
二十三日午後十時半頃平野新撰組の一隊が内郷村方面を警戒中同村御殿地内で泥濘徘徊してゐる二名の男を舉動不審と認め誰何すると矢聲に逃走せんとするのを取押へんとするや頑強に抵抗するので格闘の末捕縛しトラックに積み込んで本署へ連行取調への結果右は當時内郷村御殿木賃宿會津屋止宿那麻郡一の木村高橋著作（三）郡山市東町中留藏（三）の兩名が窃盜の疑ひあり嚴重取調へ中

赤井信用總會

赤井信用購買組合では二十六日午後一時から同村第二小學校に役員會を開催、事業經營改善につき協議する

澤渡に傳貧馬

澤渡村大字北阿部直衛飼育鹿毛牝馬二才は二十三日傳染性貧血症と決定撲殺した

暑中日記

七月二十六日午後八時。自動車を走り飛ばせて兩國の福井樓に乗り込んだ。と書けば一葉女史の「たけくらべ」の走れ飛ばせの夕に引かへて明け真中に大きな龜の子石で造つた池があつて涼味百プロセンの別れに夢をのせ行く車の淋しさと云ふ名句が思ひ出

不敵な泥すい漢

トラックで留置場入り
二十三日午後十時半頃平野新撰組の一隊が内郷村方面を警戒中同村御殿地内で泥濘徘徊してゐる二名の男を舉動不審と認め誰何すると矢聲に逃走せんとするのを取押へんとするや頑強に抵抗するので格闘の末捕縛しトラックに積み込んで本署へ連行取調への結果右は當時内郷村御殿木賃宿會津屋止宿那麻郡一の木村高橋著作（三）郡山市東町中留藏（三）の兩名が窃盜の疑ひあり嚴重取調へ中

赤井信用總會

赤井信用購買組合では二十六日午後一時から同村第二小學校に役員會を開催、事業經營改善につき協議する

澤渡に傳貧馬

澤渡村大字北阿部直衛飼育鹿毛牝馬二才は二十三日傳染性貧血症と決定撲殺した

暑中日記

七月二十六日午後八時。自動車を走り飛ばせて兩國の福井樓に乗り込んだ。と書けば一葉女史の「たけくらべ」の走れ飛ばせの夕に引かへて明け真中に大きな龜の子石で造つた池があつて涼味百プロセンの別れに夢をのせ行く車の淋しさと云ふ名句が思ひ出

